

# Mizuho Daily Market Report

2023/6/19

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	141.12	141.82	+1.53	+2.42
EUR	1.0943	1.0937	▲0.0008	+0.0188
AUD	0.6876	0.6875	▲0.0010	+0.0133
SGD	1.3373	1.3375	+0.0009	▲0.0059
CNY	7.1232	7.1269	+0.0059	▲0.0036
MYR	4.6168	4.6150	▲0.0110	+0.0007
THB	34.65	34.67	▲0.14	+0.05
IDR	14940	14935	▲10	+95
PHP	55.87	55.87	▲0.08	▲0.17
INR	81.93	81.94	▲0.24	▲0.53

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.761%	+4.5 bp	+2.2 bp
日本(10年)	0.412%	▲1.7 bp	▲1.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.474%	▲3.0 bp	+9.7 bp
オーストラリア(5年)	3.946%	+0.9 bp	+15.2 bp
シンガポール(5年)	3.049%	▲3.4 bp	+5.5 bp
中国(5年)	2.462%	+2.9 bp	+3.6 bp
マレーシア(5年)	3.533%	▲0.8 bp	+0.7 bp
タイ(5年)	2.303%	+0.3 bp	+8.7 bp
インドネシア(5年)	5.896%	▲0.6 bp	▲6.4 bp
フィリピン(5年)	5.749%	+2.0 bp	+7.4 bp
インド(5年)	6.970%	▲1.5 bp	▲0.3 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,299.12	▲0.3%	+1.2%
N225(日本)	33,706.08	+0.7%	+4.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,394.82	+0.7%	+2.4%
ASX(オーストラリア)	4,168.12	+0.1%	+0.8%
FTSEI(シンガポール)	3,260.03	+0.5%	+2.3%
SSEC(中国)	3,273.33	+0.6%	+1.3%
KLSE(マレーシア)	1,388.61	+0.5%	+0.9%
SETI(タイ)	1,559.39	+0.1%	+0.3%
JKSE(インドネシア)	6,698.547	▲0.2%	+0.1%
PSE(フィリピン)	6,508.34	+0.7%	+0.0%
SENSEX(インド)	63,384.58	+0.7%	+1.2%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	270.91	+1.5%	+4.0%
金	1,957.98	▲0.0%	▲0.2%
原油(WTI)	71.78	+1.6%	+2.3%
銅	8,555.00	▲0.0%	+2.5%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	140.50	—	143.00
EUR/USD	1.0880	—	1.1000
AUD/USD	0.6800	—	0.6930
USD/SGD	1.3330	—	1.3450
USD/CNY	7.1160	—	7.1630
USD/MYR	4.5980	—	4.6280
USD/THB	34.48	—	34.85
USD/IDR	14800	—	14960
USD/PHP	55.70	—	56.30
USD/INR	81.80	—	82.30

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は140円台前半でオープン。東京仲値後には139円台後半まで下落する場面があったが、日銀金融政策決定会合にて現状維持が発表されると円売りで反応。140円台後半まで急伸するも勢い続かず小反落。その後は日経平均株価がプラスに転じる中、ドル円もじりじりと上昇し140円台後半まで上昇。その後も高値圏でもみ合い140円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的なドル売りの流れを受け概ね上昇する展開となるも、シンガポールドルはこの日発表された非石油輸出額が8カ月連続で減少したことを受け下落する展開となった。

海外市場のドル円は140円台後半でNYオープン。NY時間朝方には「ヘンキン・リッチモンド」連銀総裁が「データがインフレ減速を示さなければ追加措置に異存ない」の発言が利上げ期待を寄せ、再び141円台半ばに戻す。しかし、続いて発表された米6月ミシガン大学消費者マインド(速報値)は予想を上回るも、1年、5-10年期待インフレ率共に予想を下回り、売りで反応し140円台後半まで下落。売り一巡後は、米金利が再度上昇した事を背景に、141円台後半まで反発する。NY時間午後も底堅い推移が継続し141円台後半でクロスした。

## 【金利】

米金利市場は、中期で特に金利上昇となり、イールドカーブは長期でフラット化した。ミシガン大消費者マインド指数が予想を上回ったほか、FED要人が今後の利上げを示唆する発言をしたことが金利上昇の要因となった。

## 【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。先週はFOMC、日銀金融政策決定会合と注目イベントが相次ぎいずれもサプライズはなく金融政策の据え置きが決定されたが、FRBに対する追加利上げ期待は残る状況が継続。円を買う材料にも乏しい状況下、ドル円は底堅い推移を予想する。

## 【本日の予定】

(日本) 5月 首都圏新築分譲マンション  
(アジア) 2Q NZ ウェストハック消費者信頼感  
(アジア) 5月 NZ ハフォーマンス・サービス指数  
(アジア) 5月 NZ 非居住者 国債保有率  
(欧州) 6月 愛 消費者信頼感指数  
(欧州) 6月 英 ライトムーブ住宅価格  
(欧州) 独 国債入札(12M)  
(米国) 6月 NAHB住宅市場指数  
(米国) 休場

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。